

7月27日(木)に山形県川西町議会の総務文教常任委員会の皆様が来庁されました。

川西町議会は、議会広報づくりが優れており、全国表彰を受けるほどということで、過去には当町議会広報常任委員会で、視察させていただいたことがある町です。

この日は、本町議会を代表して小林信二議長が歓迎のあいさつと、町企画課から視察テーマである「行財政改革の取り組み」について、説明をしました。

テーマに沿い、熱心な質疑応答がなされ、財政調整基金の管理の考え方や地方債発行に当たっての考え方、当町の予算付属書等の作り方についても関心を持たれ、「参考になりました。今後自分たちの町にもいかしていきたい」との感想が聞かれました。

その後、芳賀工業団地のトランジットセンター付近で、当時開業を間近に控えた、LRTの試運転を見学していただきました。



ちょこっと まめ知識

わかっていそうでわかっていない
議会のことを説明します。
今回は決算認定編です。



決算認定とは



決算認定って何？

なし子

議会が決定した予算がちゃんと執行されたかどうか前年度の決算内容について審査して、行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって評価することだよ。



はがまる



そうなのね。
決算認定は将来に向けての
前向きな意義なのね。

なし子



ところで、町監査委員が行っている定例監査、決算審査、例月現金出納検査って何のこと？
なんだかよく分からないわ。

なし子



決算したものを認定しても
執行済みだし、意味があるの？

なし子

行政効果を客観的に判断して、良好な内容は継続し、改善が必要な内容は今後に向けて改善点をまとめて活用していくよ。



はがまる

定例監査は町の予算が適切かチェックをし、決算審査は決算内容や計数が正確かをチェックし、例月現金出納検査は毎月町の出納事務が正確に行われているかどうかのチェックをしているよ。他にも事務の執行について、住民や議会からの請求に基づく監査も行うんだよ。



はがまる



認定したらその後は？

なし子

決算は認定して終わりではなくて、その結果を町の財政運営の一層の健全化と適正化、今後の町の将来に役立terるとのことだね。



はがまる



町の予算や決算、歳入や支出、事務執行など細かくチェックしてくれているのね。
町のチェック体制って訳ね。